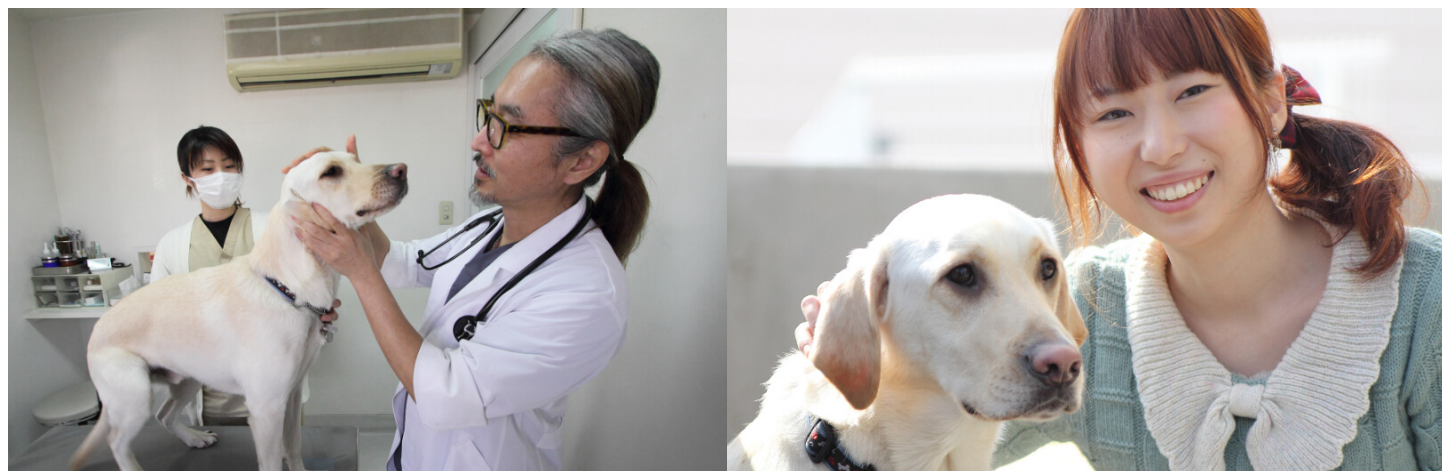




2025/11/21 公開

ごはんを変えたら一気に皮膚炎がひどくなって・・・

<中医学体験談03> もともとアレルギーを持っていたのですが、ごはんを変えたたん、一気に重傷化してしまった「**かんたくん**（ラブラドルレトリバー・2歳）」。かゆがってかくものだから皮膚がボロボロになって、毛にも艶がなくなって。Tさん（神奈川県海老名市）は勤めていた動物病院で先生に相談しました。



もともとアレルギーを持っていたのですが、ごはんを変えたたん、それが一気に重傷化してしまいました。かゆがってかくものだから皮膚がボロボロになって、毛にも艶がなくなって。食物アレルギーですね。私は動物病院で働いているので、すぐに先生に相談しました。そして、長期戦になるのは覚悟の上で、漢方サブリを処方していただきました。



就職するまでは、ペットにも漢方治療があるなんて知りませんでした。健康は、まずは正しい食事だと思うのですが、アレルギー症状が出て、抗生剤で無理やり治すのではなく、症状を出させないという点で漢方はいいいと思います。

自然だし、体に負担がかかりませんから。今ではすっかりよくなって、毛に艶が出て、さわり心地もふわふわしています。

長期戦を覚悟していましたが、意外に早く改善できました。

獣医師 / 上田裕 先生

皮膚のかゆみを伴う炎症がありました。口周りの皮膚や背中のかゆみ、フケ、下顎の赤みなどです。西洋医学薬と中医学ペットサプリを併用して処方しました。

効果が見られたのは約2～3週間後、炎症がだいぶ落ち着いてきたのは約1カ月後です。まずは背中のかゆみが消え、フケが少なくなり、続いて下顎の赤みとかゆみもなくなりました。

記事監修：

[日本ペット中医学研究会 https://j-pcm.com/](https://j-pcm.com/)

[研究会会員病院検索ページ](https://j-pcm.com/memberlist/)

<https://j-pcm.com/memberlist/>